Prime English

― Grammar and Vocabulary ―

文法と単語から学ぶ基礎英語

角 岡 賢 一
David Dykes 著

SEIBIDO

Photographs by　写真提供
Pan-Asia Newspaper Alliance　　PANA通信社
Kenichi Kadooka　　角岡　賢一

Prime English — Grammar and Vocabulary —

Copyright © 2013 by Kenichi Kadooka, David Dykes

All rights reserved for Japan.
No part of this book may be reproduced in any form
without permission from Seibido Co., Ltd.

本書をご使用の皆さんへ

本書は、大学英語の基礎として文法と語彙を習得することを目的としています。全体を20章の構成とし、各章は文法・Challenge Reading・語彙から成っています。語彙編は、巻末に一括して掲載しています。従来の教科書では、単語集は副教材として用意する必要がありましたが、本書では派生語を含めて880語の最重要単語を習得できるように編集されています。

以下に、本書を用いての学習の進め方について述べておきます。

文法

例文などを通して、基礎的な文法について一通り説明をしています。予習の段階で各例文について、意味を考えてみましょう。語学の習得は、まず辞書を引くことから始まります。語学力は､辞書を引く回数に比例すると言っても良いぐらいです。辞書を引いた際は単語の意味だけではなく、例文にも目を通してみましょう。

主語や動詞の区別について、また品詞（動詞・名詞・形容詞など）についての区別などは文法の基本です。これらの各品詞や時制（過去・現在・未来)、進行形や完了形について一通り基礎を固めておきましょう。

例文の後に、文法の演習問題に入ります。英文和訳・和文英訳・部分作文などの問題を通じて文法項目の力が付くように配慮しています。

Challenge Reading

素材は少し難しいかもしれません。日常生活で身近にあるものや、イギリス・アメリカや中国など海外の諸事情が題材となっています。問題にヒントを含めてありますから、問題を見ながら英語の文章を読み進めていくと良いでしょう。

文章の意味を押さえていくのに、日本語を通して考えるのと、英語そのままで理解しようとするのと二通りあります。最初のうちは日本語を通して考えても良いでしょう。慣れるに従って、日本語を介さずに英語で直接意味を追っていけるようになるのが理想的です。

内容の真偽は、英文の内容について英語で述べてあります。これも、なるべく英語で直接考えるようにすれば力が付きます。

語彙

ここでは、四千語水準の単語を、派生語も含めて880語収録しています。この水準の単語を習得すれば、英語力は確かなものになります。各章には22の基本単語と派生語が配されています。 各章は品詞別に纏めてあります。名詞－動詞－形容詞と

いう順で配置してあります。

四つの品詞と類義語・反対語は次の略号で表記されています。

形 形容詞　　名 名詞　　動 動詞　　副 副詞

類 類義語　　反 反対語

自学自習用に、CDを付けてあります。CDには、これら単語と例文が収録してあります。聴くだけではなく、自分でも声を出して読む練習を繰り返してください。

この教科書を通して、皆さんが実用的な英語力を付け、勉学に励まれるように願って止みません。

最後に、本書の刊行に際して編集の労を執って頂いた㈱成美堂の菅野英一氏に感謝の意を表します。

2012年８月

著者記す

CONTENTS

Chapter 1 品詞 …… 1
Chapter 2 主語・補語・目的語 …… 5
Chapter 3 名詞、代名詞 …… 9
Chapter 4 動詞 …… 13
Chapter 5 時制 …… 17
Chapter 6 形容詞と副詞 …… 21
Chapter 7 比較級と最上級 …… 25
Chapter 8 前置詞と接続詞 …… 29
Chapter 9 助動詞 …… 33
Chapter 10 否定、疑問、命令文、感嘆文 …… 37
Chapter 11 不定詞 …… 41
Chapter 12 現在分詞と過去分詞 …… 45
Chapter 13 動名詞 …… 49
Chapter 14 完了形 …… 53
Chapter 15 受動態 …… 57
Chapter 16 語順 …… 61
Chapter 17 関係代名詞 …… 65
Chapter 18 関係副詞 …… 69
Chapter 19 仮定法、話法 …… 73
Chapter 20 構文 …… 77
Section 3 Vocabulary …… 81

Chapter 1 品　詞

Grammar Points

【品詞】

・名詞……物や人の名前を示す。数えられる（例：pen - pens, country - countries, sheep - sheep）・数えられない（例：information, furniture, money）等で区別する。数えられる名詞には複数形がある。

・動詞……状態や動作を表す。目的語を取る**他動詞**（例：take, kill）と、取らない**自動詞**（例：walk, swim）という区別がある。**原形・過去形・過去分詞形**（take - took - taken, kill - killed - killed, walk - walked - walked, swim - swam - swum）、**現在分詞形**（taking, killing, walking, swimming）と形が変化する。

・形容詞……人や物の状態・様子を描写する。名詞を修飾したり、補語になる。**原級・比較級・最上級**（例：happy - happier - happiest, beautiful - more beautiful, most beautiful）というように形が変化する。本書では、冠詞 a/an, the も形容詞と分類する。

・副詞……様態を描写する。主として動詞や文全体を修飾する。**原級・比較級・最上級**（例：well - better - best, busily - more busily - most busily）というように形が変化する。

・接続詞……語、句、節、文をつなぐ。例：and, but, so, if, when

・代名詞……名詞の代わりとなる。例：I, you, she, they

・前置詞……名詞や代名詞などの前について時間や場所の関係などを示す。例：in, on, at

・間投詞……驚きなどの感情を表す語や、挨拶。日本語では「感動詞」。例：ah, oh, hello, hi

I like swimming in the river.
代 動　　名　　前 形　名

This is my book, and that is your bag.
代 動 代　名　接　代 動　代　名

Wash your hands.
動　代　名

Hello, Tom !
間　　名

【句】

・「（～の）世話をする」	take care (of ～)	動詞句
・「発電所」	power station（英）/ power plant（米）	名詞句
・「～が好きだ」	fond of ～	形容詞句

Parents must <u>take care of</u> their children.　親は子の世話をしなければならない。
動詞句

There is a big gate <u>in front of</u> <u>the power station</u>.　発電所の正面には大きな門がある。
前置詞句　　名詞句

Section 7 Grammar

1．次の各文で（　）内に語群から適切な語を選んで入れ、文全体の意味を考えなさい。

1. Zhang is (　　) from China.

2. It (　　) to rain.

3. This salmon (　　) very good.

4. Michael (　　) Russian fluently.

5. Rachel gave (　　) (　　).

6. Turn the light (　　) while you are asleep.

a student
speaks
off
him
tastes
a present
began

2．[　] 内の語を並べ替えて英文を作りなさい。文頭の単語も小文字になっています。また、下線を施した語の品詞を答えなさい。

1. [daughter school goes <u>our</u> at to o'clock eight].　　品詞 [　　]

2. [<u>tell</u> can me you way station the the to] ?　　品詞 [　　]

3. [<u>book</u> table there on a the is].　　品詞 [　　]

4. [it <u>cloudy</u> tomorrow be will].　　品詞 [　　]

5. [sports you do like what play to] ?　　品詞 [　　]

6. [child rain the the waiting left was in].　　品詞 [　　]

7. [how many the guide languages speak does] ?　　品詞 [　　]

8. [polite older people to be].　　品詞 [　　]

3．次の各文で、下線部と同じような意味になる句を選択肢から選びなさい。また、文全体の意味を書きなさい。文頭の語が小文字になっている場合もあります。

1. Nancy likes swimming in the sea.　　[　　]

2. European people prefer bread to rice in general.　　[　　]

3. Jill can speak as many as five languages.　　[　　]

4. To be frank with you, it may not be a good idea.　　[　　]

5. Nuclear power plants are dangerous.　　[　　]

6. The train was late due to the heavy rain.　　[　　]

is able to　is fond of　because of　frankly speaking　power stations　like better than

Section 2 Challenge reading　CD 02

Walking the dog

文章を読んで、問いに答えなさい。

I live in Japan, but sometimes spend a week (1) August with my brother's family in England. Some days, we take Harry, their spaniel, (2) a longish walk over a hill by the sea.

①**Harry can't wait to get there**. A mile before the hill, we slip his lead (3) and he dashes wildly away through the fields by a river. Other dogs are exercising, too. ②**Sometimes they come up and say hello, but never for long**. When we get (4) the hill, we climb over it, and then down again to the waterside. ③**It's a quiet place, so Harry can run into the sea**.

In Japan, dogs stay on their lead. I try to take our terrier Chocolat (5) from roads sometimes and let him free, but only for short distances. ④**It's hard to find space in urban Japan**! Chocolat likes it here, though!

Notes: **Harry** ハリー（犬の名）、**spaniel** スパニエル（犬の種類）、**longish** 長めの、**lead** 紐、**terrier** テリア（犬の種類）、**Chocolat** ショコラ（犬の名）

1．次の各文が本文の内容と一致していればT、一致していなければFに印を付けなさい。

1. The writer lives permanently in England. [T/F]
2. In England, the writer and his brother's family take Harry for a walk every day. [T/F]
3. Harry likes to go to the sea. [T/F]
4. In England, dogs must always be kept on their lead. [T/F]
5. Harry swims in the sea. [T/F]
6. Chocolat likes living in urban Japan. [T/F]

2．空欄を補充する単語を次から選びなさい。

1. (　　)　2. (　　)　3. (　　)　4. (　　)
5. (　　)

away　for　in　off　to

3．下線文を日本語に訳しなさい。

①

②

③

④